《ニュートラルセットアップ方法》

ESC（スピードコントローラー）にバッテリーを接続せず、受信機スイッチも入っていないことを確認してください。モーターのピニオンギヤを外し、車体に駆動が伝わらない状態であることを確認してください。

①ESCにバッテリーをつなぎ、必ず送信機のスイッチが入っていることを確認してからESCのスイッチを入れてください。
★送信機のスロットルトリム（サブトリムも含む）を必ずニュートラルにします。
お使いの送信機がサンワ、JRの場合はスロットルリバーススイッチをノーマルに、タミヤ、フタバ、KOの場合はリバースにしてください。
★送信機のスロットル舵角の操作量（ATV）は前進、後進側ともに最大値または出荷時の設定にし、ABS機能やアクセレーション機能がある場合は必ずOFFにしてください。
★フェールセーフ機能のあるプロポをお使いのときには設定をニュートラルにし、ESCの値と合わせてください。

②ESCスイッチのセットボタンを押したまま、スイッチをONにします。
青のLED（3番）が点灯したらボタンをはなします。
★LEDが点灯するまでの間は、送信機のスロットル操作を行わないでください。
★LEDの点灯や点滅にしばらく時間がありますがそのままお待ちください。

③スロットルを前進最高速位置にすると黄と赤のLED（2番、4番）が点滅します。
黄と赤のLED（2番、4番）が点灯したことを確認してブレーキ最大位置にします。

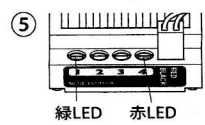
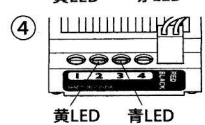
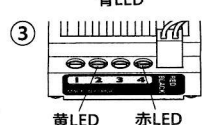
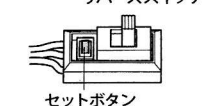
④スロットルを最大ブレーキ位置にすると黄と青のLED（2番、3番）が点滅します。
黄と青のLED（2番、3番）が点灯したことを確認してニュートラルへ戻します。

⑤スロットルがニュートラルに戻ると、緑と赤のLED（1番、4番）が点滅します。
しばらくして、すべての LED が消灯したら設定は終了です。
一度 ESC スイッチを OFF し、再び ON にしたときから、設定した内容は有効になります。

① ※送信機
※スロットルリバーススイッチ
セットボタン
② 青LED
③ 黄LED 赤LED
④ 黄LED 青LED
⑤ 緑LED 赤LED

★どうしても上手にセットアップ出来ない場合は、もう一度最初からやり直してください。
★すべてのポイントの設定が完了した時点でデータを読み込むため、個々のポイントを単独で設定することはできません。
★設定途中で電源OFFにした場合、設定ポイントは記憶されません。前回のデータのままになります。
★ご使用の送信機を変更した場合は再度セットアップを行ってください。
★電源を ON にしても ESC が動作しない場合は、ニュートラルのズレが考えられます。再度セットアップを行ってください。
★セットアップ設定を行った後は、スロットルトリム（サブトリムを含む）の微調整は、絶対に行わないでください。走行中に少しでも誤動作を感じたらスロットルトリム（サブトリムも含む）が動いていないかすぐ確認してください。

《出荷時の設定》

工場出荷時はプリセットプロフィール5にセットされています。工場出荷時の設定に戻したい場合は、この設定で記憶させてください。

《モードプログラムセット方法》

①セットボタンを長押しします。
そのまま押しつづけていると約2秒ごとにLEDの表示が切り替わり各モード（《a》～《f》まで）を示します。
★最後のモードが終わってもセットボタンを押しつづけていた場合、青LEDが点灯した状態で待機し、セットボタンを離した時点で通常モードへ戻ります。※バックキャンセル設定時は黄色LEDが点灯します。

緑LED 青LED 黄LED 赤LED

②設定したいモードまできたらスイッチを離します。LEDが点灯から点滅に変わりプログラミング可能状態に入ります。
プログラミングはセットボタンを1回押すごとに設定数値が上がっていき最大値まで来ると最小値に戻ります。
★LEDの点滅回数で設定したい番号がわかります。
例）《a》バッテリーカットオフ　赤点滅1回は設定ON、3回は設定OFF

③設定数値が確定したら、セットボタンを約2秒間長押しします。
設定を有効にするため、必ずESCの電源を入れなおしてください。
★プログラミング可能状態で10秒以上セットボタンを押さなかった場合、設定内容を記憶しないで通常モードへ戻ります。

《a》バッテリーカットオフ設定モード（赤 LED点灯）

設定 a	1	2	3
ON・OFF	設定ON	設定禁止	設定OFF

★バッテリー保護のため電源電圧が設定値より下回るとモーター出力を停止する設定
通常は設定ONにしてください。（Ni-Cd / Ni-MH / LF）

《b》バック設定モード（青 LED点灯）

設定 b	1	2
バック状況	バックキャンセル	バック可能

★バックキャンセルは送信機のスロットルトリガー前進から後進に切り替えたときブレーキが掛かります。
★バック可能は送信機のスロットルトリガー前進から後進に切り替えたときブレーキが掛かりままます。一度ニュートラルに戻したあとに後進操作を行うとバック走行します。

《c》ブレーキ出力設定モード（緑、青 LED点灯）

設定 c	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
出力%	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

《d》ニュートラルブレーキ出力設定モード（黄、青 LED点灯）

設定 d	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
出力%	OFF	5	10	15	20	25	30	35	40	45

《e》デッドバンド設定モード（青、赤 LED点灯）

設定 e	1	2	3	4	5
%	2	4	6	8	10

★ニュートラルポイント幅（遊び）の設定

《f》プリセットプロフィール設定モード（緑、黄、青、赤 LED点灯）

設定 f	1	2	3	4	5
バッテリーカットオフ a	設定選択	設定選択	設定選択	設定選択	設定ON
バック b	OFF	ON	ON	OFF	ON
※バック出力（%）	0	50	50	0	25
ブレーキ出力 c	15	15	20	40	40
ニュートラルブレーキ d	15	10	15	OFF	10
デッドバンド e	4	4	6	6	4

※バック出力の変更は上記表の設定に順じます。
★設定1～4にした場合は必ず、《a》バッテリーカットオフ設定を適切なもの（設定1　ON又は、設定3 OFF）に設定してください。

⚠ 危険・警告

以下の点に十分注意してください。故障の原因や保証の対象外となる恐れがあります。これらを守らないと、身の回り品の破損や、他人を傷つけたり、大怪我をおうことがあります。
●タミヤブラシレスモーター01センサー付をあわせてご利用ください。
●本製品は地上用RC専用に開発されています。他へ転用しないでください。
●車を走らせないときは必ずスイッチを切り、バッテリーを車体からはずしてください。何らかの事故、問題があった場合に発火及び火災の原因となる恐れがあります。
●コードの誤配線に注意してください。
●走行中の振動などでコードの接続が緩むことがあります。コントロールを失う原因となるので配線の接続は確実に行ってください。
●分解や改造はしないでください。またコードの付け替えは、ショートや基板損傷の原因となりますので絶対に行わないでください。
●必ず送信機のスイッチを入れてからESCのスイッチを入れてください順序を守らないと車が急に動き出して危険です。使用を終えるときは逆の手順でESCからスイッチを切ります。
●電子回路の故障につながるので、水分、油、燃料や伝導性の液体がスピードコントローラーやその他電子機器の内部に触れないようにしてください。もし入ってしまった場合、直ちに使用を止め乾かしてください。暴走する危険があります。
●モーターがしっかりと車体に搭載されていない状態でフルスロットルにしないでください。モーターが故障する恐れがあります。
●ESCやモーターが熱い時は連続走行せずに冷めるまで休ませてください。

《トラブルチェック》

★おかしいな？と思ったときは修理に出すまえに、下の表を参考にトラブルチェックを行ってください。

症　状	原　因	対　策
モーターが回らない ブレーキが効かない	★セットアップのミス ★配線ミス ★ESCの不良 ★温度保護機能作動	●セットアップをやり直してください。またプロポの機能も確認してください。 ●配線とコネクターを点検確認してください。 ●カスタマーサービスまでお問い合わせください ●ESCが冷めるまで使用しないでください。
オーバーヒート （温度保護機能が働いている）	★クーリング不足 ★車体駆動系の問題 ★モーターのギヤ比があっていない	●ボディに穴をあけるなどしてESCの通気をしてください。 ●車体の回転部分を確認して組みなおしてください。 ●モーターの適正ギヤ比にしてください。

万一不良部品、不足部品などありました場合には、当社カスタマーサービスまでご連絡ください。

〒422-8610 静岡市駿河区恩田原3-7
株式会社タミヤ カスタマーサービス係
《お問い合わせ電話番号》 静岡 054-283-0003
東京 03-3899-3765（静岡へ自動転送）
営業時間/平日▶8:00～20:00 土、日、祝日▶8:00～17:00

45047 TBLE-01S